

# 比較査定対象ネットワーク費用について

---

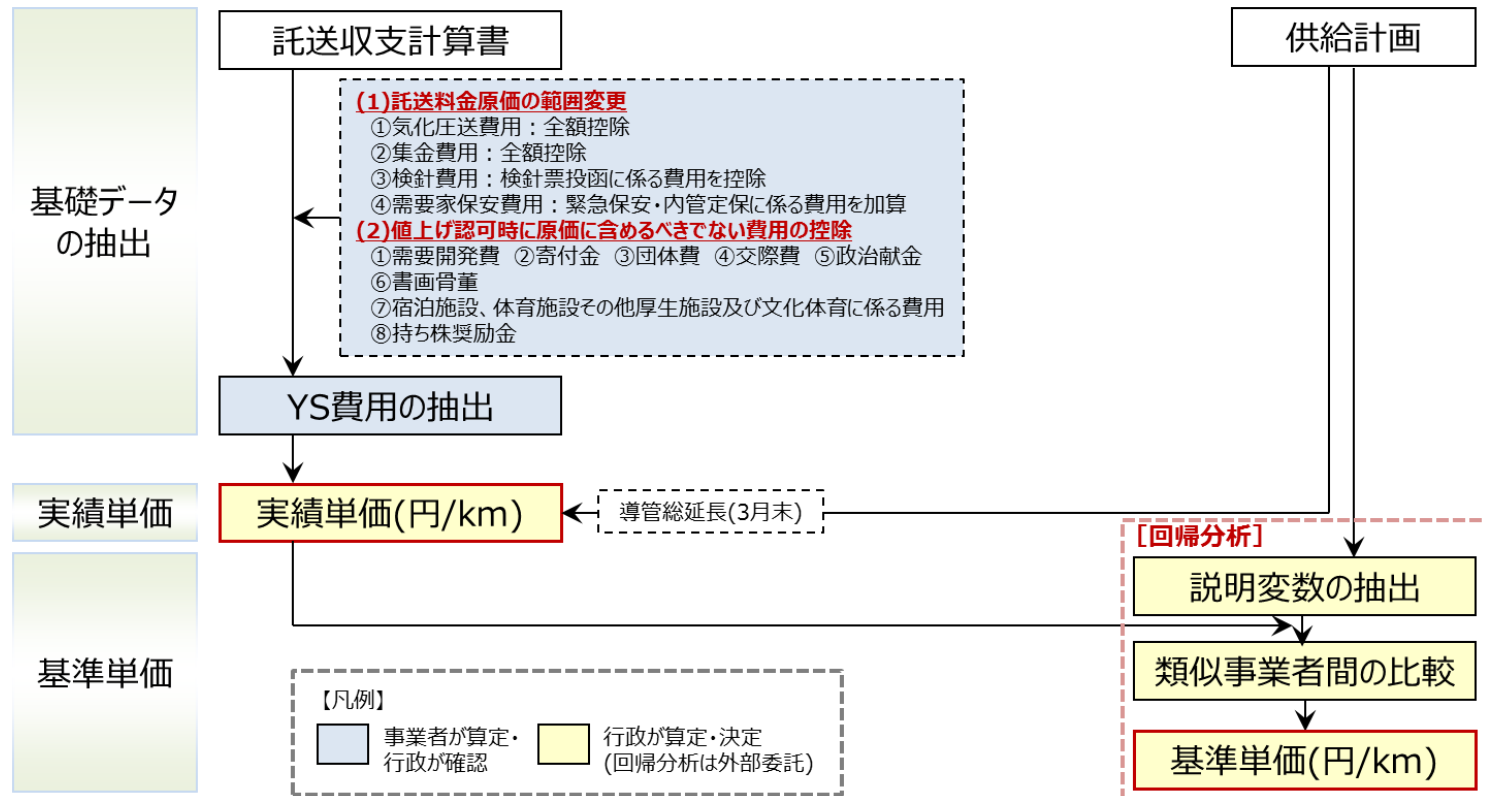
平成28年10月12日

東京ガス株式会社

# 1. 比較査定対象ネットワーク費用の概要①

- H22～H26託送収支実績を基に、比較査定対象ネットワーク費用を抽出し、託送料金原価の範囲変更、値上げ認可時に原価に含めるべきでない費用の控除を行い、実績単価を算定します。
- 実績単価等を基に、回帰分析を行い基準単価を決定します。
- 事業者毎の基準単価および実績単価は、経済産業大臣から告示されました。

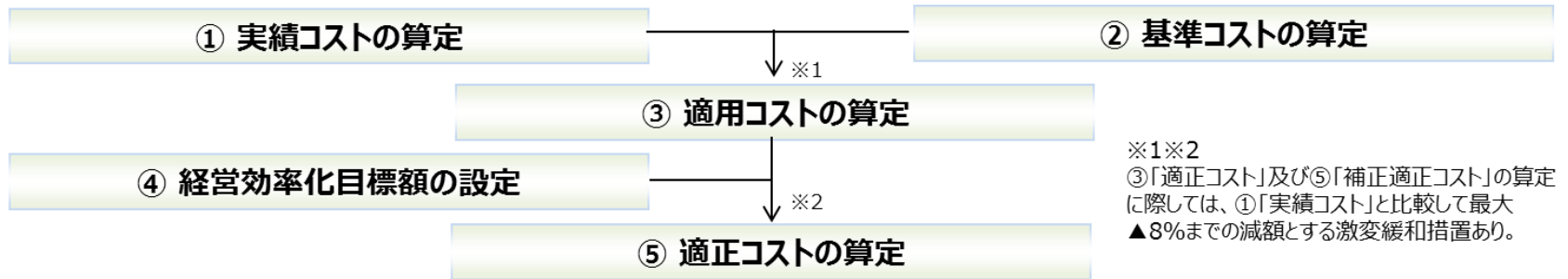
## 【実績単価・基準単価の算定フロー】



# 1. 比較査定対象ネットワーク費用の概要②

- 経済産業大臣から告示された実績単価・基準単価を基に、以下の手順で補正適正コスト（申請原価に相当する額）を算定します。

## 【補正適正コストの算定フロー】

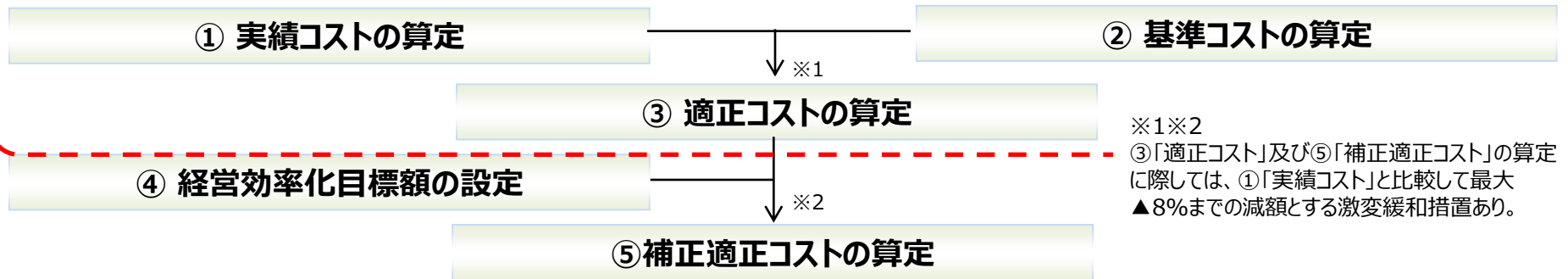


	算定方法
①実績コストの算定	「実績コスト」＝「実績単価」×「原価算定期間3年間の期末導管総延長の合計」
②基準コストの算定	「基準コスト」＝「基準単価」×「原価算定期間3年間の期末導管総延長の合計」
③適正コストの算定	1) 「実績コスト」≤「基準コスト」の場合、「適正コスト」＝「実績コスト」 2-1) 「実績コスト」>「基準コスト」であって、「基準コスト」と「実績コスト」との差が「実績コスト」の▲8%未満の場合、「適正コスト」＝「基準コスト」 2-2) 「実績コスト」>「基準コスト」であって、「基準コスト」と「実績コスト」との差が「実績コスト」の▲8%超の場合、「適正コスト」＝「実績コストの▲8%に相当する額」
④経営効率化目標額の設定	「経営効率化目標額」＝「H27年度の当期超過利潤累積額」 * 超過利潤累積額：託送収支計算規則様式第3第2表(H27年度実績)に記載した額
⑤補正適正コストの算定	「補正適正コスト」＝「適正コスト」－「経営効率化目標額」 (ただし、「適正コスト」と「実績コスト」を比較し、③と同様の激変緩和措置あり。)

## 2. 比較査定対象ネットワーク費用の算定①

- 当社は、実績コストが基準コストを下回るため、適正コストの算定に実績コストを用いています。

【補正適正コストの算定フロー（①実績コスト、②基準コスト、③適正コスト）】



	算定方法	①実績コスト	②基準コスト
A.単価	経済産業大臣が告示する値	1,725千円/km	1,862千円/km
B.原価算定期間の3月末の導管総延長	H28年度供給計画の年度末導管総延長(H29~H31平均)	61,865km	61,865km
C.適正コスト	単価×導管総延長 (C=A×B)	1,067億円/年	1,162億円/年

## 2. 比較査定対象ネットワーク費用の算定②

- 算定省令等に基づき、適正コストから経営効率化目標額を控除した「補正適正コスト」を算定し、申請原価として1,067億円を計上しています。

【補正適正コストの算定フロー（③適正コスト、④経営効率化目標額、⑤補正適正コスト）】

① 実績コストの算定

② 基準コストの算定

※1

③ 適正コストの算定

④ 経営効率化目標額の設定

※2

⑤ 補正適正コストの算定

※1※2

③「適正コスト」及び⑤「補正適正コスト」の算定に際しては、①「実績コスト」と比較して最大▲8%までの減額とする激変緩和措置あり。

	算定方法	H29~H31 平均
③適正コスト	実績単価×導管総延長 (P.3)	1,067億円/年
④経営効率化目標額	H27年度の当期超過利潤累積額※ (※) 託送収支計算規則様式第3第2表(H27年度実績)に記載した額	0.6億円
⑤補正適正コスト	適正コスト (③) - 経営効率化目標 (④)	1,067億円/年

申請原価

## 【参考】導管総延長の推移

- 原価算定期間における導管総延長は、H28年度の供給計画を基にH27年度末の導管総延長（実績見込）を反映して策定しています。具体的には、申請原価の設備投資計画に織り込んだ導管の新設、廃止計画を反映して算定しています。

### 【導管総延長の推移】

	原価算定期間 (km)									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H29-H31 平均
導管総延長	54,784	55,422	56,119	56,740	57,489	60,480	61,191	61,858	62,546	61,865

(注) H23-H26は実績値、H27は実績見込、H28以降は計画値

新設	3,049 (737) <sup>※</sup>	769	724	745	(km)
廃止	▲58	▲57	▲57	▲57	(km)

(※)・H28年5月に経営統合した、千葉ガス、筑波学園ガス、美浦ガスのH27年度末の導管延長（2,312km：実績見込）を控除した値。